

【再掲】節電へのご協力をお願い

日頃より節電にご協力いただき、誠にありがとうございます。

昨日、岸田首相による記者会見の中で、「ロシアのウクライナ侵略という極めて深刻な事態に直面している」とした上で、エネルギー価格高騰による、日本経済への悪影響を少しでも減らすために、「これまで以上の省エネに取り組み、石油やガスの使用を、少しでも減らす努力をすることが大切だ」と省エネへの理解と協力を国民に呼びかけました。

このため当社としましても、お客さまには今一度、少しでも節電へのご協力を賜りますよう、お願いしたいと存じます。

株式会社エフエネ

コロナ禍でご自宅で過ごす機会が多い状況での 節電取組をご紹介します

冷蔵庫



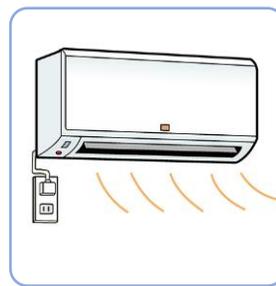
自宅での食事が増えることで、
扉の開閉回数も増え、
冷やすための電力も増加します。

1 冷蔵庫の温度設定を確認

強から**中**や**弱**にする。
エコ運転モードを活用する。

2 冷蔵室は庫内が均一に冷えるよう、
隙間をあけて、
詰めすぎないようにしましょう。

暖房



自宅にいる時間が長くなると、
暖房をつけている時間も長くなります。

1 暖まった空気をサーキュレーターなど
で循環させたり、床まで届く、厚手の
カーテンで暖房効果を高めましょう。

2 ひざ掛けなどを使ってウォームビズを
実践しましょう。

照明



在宅時間が増え、
照明をつけている時間が
長くなります。

不要な照明はこまめに消灯したり、
思い切ってLEDに変えることも
考えてみましょう。

パソコン



テレワークにより、
パソコンの使用時間が
長くなります。

「ディスプレイの電源を切る」や
「PCをスリープ状態にする」の
時間を短くしたり、画面の輝度を下げるなど、
設定を確認しましょう。

テレビ



テレビをつける時間も
長くなりがちです。

視聴しない時はこまめに消したり、
画面の設定を確認して、部屋の明るさに
合わせた適切な明るさで視聴しましょう。

お風呂



寒い冬には、ゆっくりと
お風呂につかることも
多くなり、追い炊きの
機会も増えます。

家族で間隔をあけずに入浴したり、
間隔をあける場合でもフタをして浴槽にためた
お湯の熱を逃がさないようにしましょう。

温水洗浄便座



トイレに行く機会も
増えます。
冬は暖房便座を使用する
家庭も多くなります。

放熱の防止のため、フタの閉め忘れがないよう
に心がけましょう。お出かけ前や就寝前は
タイマーなどの節電モードを上手に活用
しましょう。

環境省が出している、

「うちエコ診断」などを活用し、
年間のエネルギー使用量や光熱費などの
情報をもとに、お住まいの気候や
ご家庭のライフスタイル
に合わせた省エネ対策を
検討してみましょう。



その他関連情報



省エネポータルサイト
「無理のない省エネ節約」
(資源エネルギー庁)



スマートライフおすすめBOOK
(一般財団法人 家電製品協会)